



平成23年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ノエビア

コード番号 4916 URL <http://www.noevir.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大倉 俊

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経理部長

(氏名) 濱口 雅之

TEL 078-303-5121

四半期報告書提出予定日 平成23年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第1四半期の連結業績(平成22年9月21日～平成22年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第1四半期	13,131	△8.3	1,413	△27.3	1,509	△25.7	743	△21.3
22年9月期第1四半期	14,327	△10.1	1,944	△28.3	2,030	△28.2	945	△28.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第1四半期	18.00	—
22年9月期第1四半期	22.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第1四半期	88,444	51,252	57.9	1,239.82
22年9月期	88,796	52,011	58.6	1,258.20

(参考) 自己資本 23年9月期第1四半期 51,232百万円 22年9月期 51,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	0.00	—	36.00	36.00
23年9月期	—	—	—	—	—
23年9月期(予想)	—	0.00	—	36.00	36.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年9月21日～平成23年9月20日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,600	△4.4	2,000	△6.3	2,100	△7.9	900	△19.7	21.78
通期	51,000	△3.0	2,700	△3.0	3,000	△2.8	1,500	△4.2	36.30

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年9月期1Q 41,337,487株 22年9月期 41,337,487株

② 期末自己株式数 23年9月期1Q 14,627株 22年9月期 14,627株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年9月期1Q 41,322,860株 22年9月期1Q 41,322,860株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間（平成22年9月21日から平成22年12月20日まで）

	当第1四半期	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)
化粧品事業	9,251	70.4
医薬・食品事業	3,597	27.4
その他の事業	282	2.2
売上高計	13,131	100.0

	前第1四半期		当第1四半期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)		
営業利益	1,944	13.6	1,413	10.8	△530	△27.3
経常利益	2,030	14.2	1,509	11.5	△520	△25.7
四半期純利益	945	6.6	743	5.7	△201	△21.3

当第1四半期連結累計期間（平成22年9月21日～平成22年12月20日）におけるわが国経済は、企業業績の持ち直しが見られ、所得環境は緩やかな改善基調にあるものの、雇用は足踏み状態であり、個人消費マインドは一進一退が続いております。

当社グループが主に事業を展開する化粧品市場におきましては、国内市場の縮小傾向に下げ止まり感はあるものの、企業間競争は益々激しくなっております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、13,131百万円（前年同期比8.3%減）、営業利益は1,413百万円（同27.3%減）、経常利益は1,509百万円（同25.7%減）、四半期純利益は743百万円（同21.3%減）となりました。

化粧品事業におきましては、カウンセリング化粧品の特に高価格帯の基礎化粧品売上が前年に比べ減少いたしました。またセルフ化粧品は、引き続き順調に推移いたしました。その結果、化粧品事業の売上高は、9,251百万円、セグメント利益は1,898百万円となりました。

医薬・食品事業におきましては、栄養補助食品は消費者志向に合致した商品の提供により、順調に推移いたしました。ドリンク類の売上は前年実績を下回りました。その結果、医薬・食品事業の売上高は、3,597百万円、セグメント損失は87百万円となりました。

その他の事業では、北米子会社における航空関連事業が、前年に比べ回復いたしました。その結果、その他の事業の売上高は、282百万円、セグメント損失は14百万円となりました。

なお、当社は「基礎化粧品フェア」（冬、夏各2ヶ月間）を実施するため、第1四半期（9月21日～12月20日）及び第3四半期（3月21日～6月20日）の売上高及び利益の比重が高くなる傾向にあります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ352百万円減少し、88,444百万円となりました。主に、設備投資の抑制により有形固定資産が減少し、固定資産が前連結会計年度末に比べ278百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ407百万円増加し、37,192百万円となりました。主に、その他(流動負債)が増加し、流動負債が前連結会計年度末に比べ484百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ759百万円減少し、51,252百万円となりました。主に、配当金の支払によって利益剰余金が前連結会計年度末に比べ743百万円減少したことによるものです。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末の36,362百万円に比べ3,139百万円減少し、33,222百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は254百万円(前年同期比762百万円の収入減)となりました。これは、主に、税金等調整前四半期純利益1,395百万円及び減価償却費419百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は2,183百万円(前年同期比1,933百万円の支出増)となりました。これは、主に、定期預金の預入による支出2,500百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は1,184百万円(前年同期比55百万円の支出増)となりました。これは、配当金の支払額1,184百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成22年10月29日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

①たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

在外子会社及び重要性のない国内子会社において、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるものについては、前連結会計年度において使用した将来の業績や予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は、それぞれ4,890千円、税金等調整前四半期純利益は、129,667千円減少しております。

②表示方法の変更

「コミットメントフィー」は、前第1四半期連結累計期間においては、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりましたが、当第1四半期連結累計期間において営業外費用の総額の100分の20を超えたため区分掲記いたしました。なお、前第1四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれるコミットメントフィーは、3,677千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成22年12月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,722,124	37,362,030
受取手形及び売掛金	11,954,735	11,023,886
有価証券	—	500,000
商品及び製品	6,443,546	6,470,848
仕掛品	311,434	297,615
原材料及び貯蔵品	1,551,304	1,697,635
繰延税金資産	1,780,801	1,659,337
未収入金	1,803,497	1,796,886
その他	642,034	491,800
貸倒引当金	△78,417	△95,834
流動資産合計	61,131,060	61,204,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,162,079	6,230,321
機械装置及び運搬具（純額）	982,664	1,016,232
土地	14,330,058	14,330,058
リース資産（純額）	23,745	23,611
建設仮勘定	18,973	35,243
その他（純額）	460,179	491,267
有形固定資産合計	21,977,700	22,126,734
無形固定資産		
のれん	3,670	4,556
ソフトウェア	1,292,196	1,345,690
その他	111,389	159,931
無形固定資産合計	1,407,256	1,510,178
投資その他の資産		
投資有価証券	513,586	456,824
長期貸付金	3,286	3,384
繰延税金資産	2,227,949	2,126,342
その他	1,389,301	1,575,587
貸倒引当金	△205,364	△206,402
投資その他の資産合計	3,928,759	3,955,736
固定資産合計	27,313,716	27,592,648
資産合計	88,444,776	88,796,857

(単位：千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成22年12月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,614,467	5,258,389
リース債務	6,114	5,791
未払金	3,846,593	4,039,531
未払法人税等	952,259	485,019
繰延税金負債	6	6
賞与引当金	200,346	361,191
返品調整引当金	1,292,545	1,246,929
その他	1,779,366	810,130
流動負債合計	12,691,699	12,206,989
固定負債		
リース債務	18,801	18,983
退職給付引当金	5,178,286	5,084,432
長期預り保証金	18,986,472	19,230,372
その他	316,958	244,165
固定負債合計	24,500,519	24,577,954
負債合計	37,192,218	36,784,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,319,431	7,319,431
資本剰余金	6,809,366	6,809,366
利益剰余金	37,562,076	38,305,907
自己株式	△21,326	△21,326
株主資本合計	51,669,548	52,413,379
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	64,292	28,087
為替換算調整勘定	△500,865	△448,867
評価・換算差額等合計	△436,572	△420,780
少数株主持分	19,582	19,313
純資産合計	51,252,558	52,011,912
負債純資産合計	88,444,776	88,796,857

(2) 四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年9月21日 至平成21年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月21日 至平成22年12月20日)
売上高	14,327,330	13,131,532
売上原価	4,429,105	4,350,005
売上総利益	9,898,224	8,781,526
販売費及び一般管理費	7,953,863	7,368,109
営業利益	1,944,361	1,413,416
営業外収益		
受取利息	7,108	7,835
受取配当金	3,956	4,022
保険配当金	41,157	26,276
その他	72,067	70,339
営業外収益合計	124,290	108,474
営業外費用		
為替差損	34,587	6,427
コミットメントフィー	—	3,676
その他	3,923	2,428
営業外費用合計	38,511	12,532
経常利益	2,030,140	1,509,357
特別利益		
固定資産売却益	157	—
貸倒引当金戻入額	—	17,269
債務保証損失引当金戻入額	907	—
特別利益合計	1,065	17,269
特別損失		
固定資産除売却損	390	5,899
投資有価証券評価損	223,471	759
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	124,776
特別損失合計	223,861	131,435
税金等調整前四半期純利益	1,807,343	1,395,191
法人税、住民税及び事業税	1,001,506	894,826
法人税等調整額	△137,872	△244,378
法人税等合計	863,633	650,448
少数株主損益調整前四半期純利益	—	744,742
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,356	950
四半期純利益	945,067	743,791

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年9月21日 至平成21年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月21日 至平成22年12月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,807,343	1,395,191
減価償却費	454,189	419,487
のれん償却額	2,118	885
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27,217	△18,308
賞与引当金の増減額(△は減少)	△83,406	△160,769
返品調整引当金の増減額(△は減少)	203,855	45,631
退職給付引当金の増減額(△は減少)	163,751	93,853
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△907	—
受取利息及び受取配当金	△11,065	△11,858
為替差損益(△は益)	28,056	5,021
投資有価証券評価損益(△は益)	223,471	759
固定資産除売却損益(△は益)	232	5,899
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	124,776
売上債権の増減額(△は増加)	△1,184,934	△932,451
たな卸資産の増減額(△は増加)	△80,797	130,923
仕入債務の増減額(△は減少)	△320,415	△650,483
預り保証金の増減額(△は減少)	△156,200	△243,900
その他	548,225	507,265
小計	1,566,301	711,924
利息及び配当金の受取額	8,753	8,125
法人税等の支払額	△557,882	△465,673
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,017,171	254,376
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△2,500,000
有価証券の償還による収入	—	500,000
投資有価証券の取得による支出	—	△450
有形固定資産の取得による支出	△251,930	△171,261
有形固定資産の売却による収入	1,000	374
無形固定資産の取得による支出	—	△12,548
無形固定資産の売却による収入	137	—
長期貸付金の回収による収入	203	96
投資活動によるキャッシュ・フロー	△250,590	△2,183,789
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,128,787	△1,184,235
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,128,787	△1,184,235
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,492	△26,257
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△386,699	△3,139,906
現金及び現金同等物の期首残高	35,579,974	36,362,030
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,193,275	33,222,124

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年9月21日 至 平成21年12月20日)

	化粧品事業 (千円)	医薬品事業 (千円)	食品事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	10,491,349	1,800,222	1,855,222	180,535	14,327,330	—	14,327,330
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	35,787	35,787	△35,787	—
計	10,491,349	1,800,222	1,855,222	216,322	14,363,117	△35,787	14,327,330
営業利益又は営業損失(△)	2,475,495	△104,339	50,621	△25,150	2,396,626	△452,264	1,944,361

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称
事業区分は、内部組織管理上採用している区分によっております。

- (1) 化粧品事業……………化粧品、化粧用医薬部外品
- (2) 医薬品事業……………医薬品、上記以外の医薬部外品
- (3) 食品事業……………食品、栄養補助食品
- (4) その他の事業……………アパレル、化粧雑貨、航空関連

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年9月21日 至 平成21年12月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社の売上高の金額が全セグメント売上高の金額の10%未満であるため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年9月21日 至 平成21年12月20日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【セグメント情報】

① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主として化粧品及び医薬・食品の製造販売事業と航空関連事業等のその他の事業を営んでおります。

当社及び当社グループは、複数の製品の製造販売を行っており、取り扱い製品により包括的な戦略を立案し、事業活動を行っております。

したがって、当社は、取り扱い製品を基礎とした製品別のセグメントである「化粧品事業」「医薬・食品事業」から構成されております。

「化粧品事業」は、化粧品の製造販売を行っております。

「医薬・食品事業」は、医薬品・食品・栄養補助食品の製造販売を行っております。

「その他の事業」は、航空関連事業等を行っております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年9月21日 至 平成22年12月20日）

(単位：千円)

	化粧品事業	医薬・食品事業	その他の事業	合計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高						
(1)外部顧客への売上高	9,251,391	3,597,245	282,894	13,131,532	—	13,131,532
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	40,284	40,284	△40,284	—
計	9,251,391	3,597,245	323,179	13,171,816	△40,284	13,131,532
セグメント利益又は損失(△)	1,898,958	△87,260	△14,758	1,796,940	△383,523	1,413,416

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△383,523千円には、セグメント間取引消去14,372千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△397,896千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。